

参加グループ

市民の皆さんのお役に立ちたい

小林興業株式会社



「わたしたちの会社は、市の委託を受け、ごみの収集などを行っていることから、市民の皆さんに恩返しをして少しでも役に立ちたいという思いがありました。広報のぼりべつでこの制度を知り、すぐに参加することを決めました」と話すのは小林興業株式会社の小林百秋さん。

小林興業株式会社では、従業員の方が交代で、1カ月に2～5回程度市道登別富浦路線の清掃や草刈りなどを行っており、多いときにはごみ袋5・6個ものごみを集めるそうです。

「活動していて苦勞するのは、草刈りですね。ササやイタドリなどが多いのでけっこう大変なんです。でも、草刈りをする



ことで、空き地の奥の方まで見渡すことができますので、不法投棄の防止にもつながると思います。清掃しているときに、古タイヤを10本見つけたこともあるんですよ。空き缶やペットボトルなど、ポイ捨てと思われるものが多く、ごみはなかなか無くなりません。ごみのないきれいなまちにするためにも、みんながしっかりとマナーを守ってくれるといいですね」と小林さんは話してくれました。

きれいな観光地づくりに貢献したい

登別温泉婦人会



「桜並木の雑草がとてもひどかったんですよ。観光地登別温泉への玄関口でもあるこの区間が、このままでは観光客の皆さんに悪い印象を与えると思いました。そこでこの区間をなんとかわたしたちの手できれいにできないだろうかと思ったのが、この活動を始めるきっかけでした」と話すのは登別温泉婦人会代表の松宮登美子さん。

登別温泉婦人会は、会員60人で6月～9月の毎月第1・3火曜日の13時30分から1時間程度、桜ざか駐車公園や道道洞爺湖登別線の歩道の清掃や草刈りなどを行っています。

「雑草が多いときには、ごみ袋で10個になることもあります。雑草が伸び始めるのは、気温が上がりがりだしてからなので、活動中の暑さが一番つらいですね。でも、



ここの桜並木は『花のトンネル』の愛称で市民の皆さんに親しまれていますし、観光名所や登別温泉への玄関口でもありますので、この桜並木をきれいにするために活動しています。わたしたちが活動できない危険な場所は、行政が対応してくれますので助かります。この活動を通してきれいな観光地づくりに少しでも貢献できればと思っています」と松宮さんは話してくれました。

『のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業』参加手続きの流れ

里親の手続き

清掃・美化活動をしようにと思う道路、公園、広場、河川について、市の窓口（管理グループ）にご相談ください。条件が合う活動内容であれば、里親届を提出してください。

届け出のあった里親と市の担当者で打ち合わせをします。

里親の手続き

里親と市の間で、合意書を取り交わします（活動場所や内容、里親、市の役割を決めます）。

里親の手続き

里親全員の名簿（住所、氏名、連絡先）を提出します（ボランティア保険に関する書類）。